

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部  
(県知事賞 優秀賞)

「土しゃさいがいのこと」

鹿児島県 天城町立兼久小学校 2年 竹下<sup>たけした</sup> 竣<sup>しゅん</sup> 稀<sup>き</sup>

「クロウサギを見に行こうよ。」

ぼくは、家ぞくで南ぶダムというばしょへ、アマミノクロウサギをさがしに行きました。

ついてすぐ、草の中にじっとしているアマミノクロウサギを見つけて、うれしくなりました。

かえりみちでも、どうろのかたすみにじっとしているアマミノクロウサギを見つけ、近くでかんさつすることができました。

「もっとたくさん見たいな。」

と、言っていたら、おとうさんが、

「山みちの方から、かえろうか。」

と言ったので、ぼくは車のまどからアマミノクロウサギがいないか、さがしました。

すると、土しゃがくずれて行き止まりになっているばしょにつきました。それから先にはすずめなかつたので、車でバックして、きたみちをもどりました。

そういえば、何日か前に雨の日がつづいていたから、土しゃくずれがおきてしまったのかなと、ぼくは思いました。

ぼくは、土しゃくずれになっているところをはじめて見て、とてもおどろきました。そして、土しゃくずれにまきこまれたアマミノクロウサギはいなかったかなと、しんばいになりました。

自ぜんの中でくらししているどうぶつたちは、どうしているのかな、だいじょうぶかな。

夏休みのおわりに、たい風10号がやってきて、とくのしまでも、大雨がふりました。もしかしたら、またどこかで土しゃくずれがおきているのかもしれないと、ぼくは思いました。どうか、生きものたちがぶじであるようにと、こころの中でねがいました。

テレビでは、たい風10号のニュースがたくさんながれていました。その中に、ぼくのお兄ちゃんがすんでいるみやざきけんで、たつまきがおきたというニュースを見て、すぐにでん話をしました。お兄ちゃんはおじだったのだから、家族みんなであんしんしました。

さいきん、日本のいろいろなところで大雨がおきて、土しゃくずれにまきこまれたというニュースをよく見ます。いつおこるかわからないので、あぶないところには近づかないのがよいと思いました。

ぼくの町には、土しゃくずれがおきやすいばしょがあり、ち図でわかるようになっています。家ぞくみんなと、どこがあぶないのか、きちんとかくにんしておきたいです。